

地域

森下氏がご活躍されております群馬県みどり市は、群馬県の東部に位置する人口約5万2千人の都市です。北東部の足尾山地を水源として、利根川の支流となる渡良瀬川が、市の中心部を南東に向かって流れており、上流部には、首都圏の水瓶である草木ダムが豊富な水をたたえています。明治時代後期頃に発生した「足尾鉍毒事件」は、近代日本における公害問題として、有名になりました。

略歴

・昭和49年5月～平成21年9月(約35年5ヶ月)

渡良瀬川高津戸地点の水質調査のための採水業務に従事

※群馬県では、渡瀬川流域に高津戸地点における銅の水質目標値を監視するため、昭和44年より水質調査を実施しています。

功績内容

- ・昭和49年より、かんがい期(5月11日～9月30日)である143日日間、毎日欠かさず朝6時に採水(2リットル及び1リットルを各1本)を行われております。
- ・採水業務は、渡良瀬川高津戸橋上から、橋下約30メートルの流心へロープを付けたバケツを投下し、河川の水を汲み上げるという内容です。森下氏は、足尾鉍山の山元対策・水資源の安全確保に貢献されています。
- ・台風等の洪水時には、2時間おきに、時には昼夜にわたり採水するなど、風雨寒暑を問わず献身的にかつ長期にわたって、取り組まれた功績は多大です。



高津戸峡の風景



採水作業の様子



冬の高津戸橋



森下さん一家(右から二人目がご本人)